

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	長谷川 大悟
担当業務	理事会、診療報酬改定対策強化推進部会、代議員ネットワーク検討部会 日本理学療法学会研修大会、災害対策支援マニュアル作成ワーキングチーム、全国 リハビリテーション医療団体協議会 前記に附帯又は関連する調査・調整等

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
10月8日		業務執行理事会傍聴	オンライン
10月9日		第3回災害対策ワーキングチーム会議	オンライン
10月19日		理事会	日本理学療法士協会会館
10月19日		組織強化対策本部会議	日本理学療法士協会会館
10月20日		組織運営協議会	オンライン
10月23日		日本理学療法学会研修大会第9回渉外部会議	オンライン
10月28日	○	全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
11月7日		日本理学療法学会研修大会準備委員会傍聴	オンライン
11月14日		日本理学療法学会研修大会渉外部広報部会議	オンライン
11月14日		第4回災害対策支援マニュアルWT会議	オンライン
11月17日		第7回業務執行理事会傍聴	オンライン
11月18日	○	全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
11月18日		日本理学療法学会研修大会第10回渉外部会議	オンライン
11月20日		日本理学療法学会研修大会準備委員会傍聴	オンライン
11月29日	○	日本理学療法士連盟研修会および懇親会	新橋カンファレンスセンター
12月3日		日本理学療法学会研修大会第11回渉外部会議	オンライン
12月7日		賛助会員懇談会	赤坂カンファレンスセンター
12月7日		臨時理事会および第5回理事懇談会	日本理学療法士協会会館
12月19日		日本理学療法学会研修大会準備委員会傍聴	オンライン
12月23日	○	全国リハビリテーション医療関連団体協議会	オンライン
12月24日		業務執行理事会傍聴	オンライン

所感	【全国リハビリテーション医療関連団体協議会】 本会役員として協議会へ参画している。他団体との情報共有や連携の中で、本会の熟思が制度政策へと繋がるよう尽力する。 【災害対策・支援マニュアル作成ワーキングチーム会議】 本会として有事の際、有効となるマニュアルの作成を進めている。年度内の完成を目指し議論を深め、実践的かつ効果的なマニュアル作成に努力を重ねて参る。 【理事会】 今後の方針について、都道府県士会長との意見交換ではなく、都道府県士会ごとに丁寧な説明を行うことを提議した。また、組織運営協議会などで出た意見等を一問一答で一覧にし、事前に提示することで、より建設的な議論展開を行うこと、加えて、いつまでに何をするのか、といったロードマップを示すことを提案した。 【代議員ネットワーク検討部会】 理事会へ最終報告書を提出し、これまでの議論内容および今後の方向性を示した。当部会は、代議員ネットワークを検討する部会であり、実行する部会ではないため、今後事業執行へ移行することを強く願う。 【賛助会員懇談会】 賛助会員との関係構築は、本会にとって非常に重要な意義がある。これからも良好な関係性を保ち、双方にとって上方展開を目指せる組織となるよう心掛けたい。 【日本理学療法学会研修大会準備委員会】 広報部および渉外部担当として鋭意準備を進め、盛会となるよう過去の経験を踏まえ微力を尽していく所存である。 【業務執行理事会】 小生の立場は一般理事のため、発言権はないが傍聴が認められているため、すべての会合に出席し、所管する理事会等での建設的な議論・意見提起につなげられるよう努める。 【日本理学療法士連盟研修会】 協会の政策実現においては、政治に関する内容について知見を集積する必要がある。理事会等での発言の場で実行可能な議論を展開するため、政治に関する理解は必須であり、もって職務遂行にあたることが肝要である。 【組織強化対策本部会議】 会員の入会促進と退会抑止へ取り組みを共有し、実行に移せるよう尽力する。 【組織運営協議会】 今回、副議長として議事進行を行った。協会と士会との間でコンセンサスが得られていない内容も確認でき、今後さらに丁寧な説明が求められる。理事として、執行状況を監視し意見し、健全なる協会運営となるよう行動していく覚悟である。 その他、前期に関連する各種会合において、事前調査および調整等を行った。
報告日	2025 年 1 月 26 日

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。